

「自分たちをみつめる道徳の授業と新聞活用」

鹿追町立鹿追中学校 近藤 弘樹

1. はじめに

①十勝新聞教育研究会での学習会の取り組み

十勝新聞教育研究会では、2012年より月1回の月例学習会を行っています。そこでは、新聞を用いた授業作りと指導案の蓄積に取り組んでいます。平日の19:00～20:00の1時間勝負。会員の先生たちが集まって知恵を出し合う時間となっています。

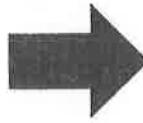
今回実践した授業は、月例学習会で作成した指導案をもとにし、それを生徒の発達段階や実態に応じてアレンジしたものです。

2. 道徳の授業と新聞活用（2013年11月28日 十勝新聞教育研究会 研究大会より）

①道徳の授業における基本的な考え方

今までよく見られた道徳授業

- ・副読本を読んで感想発表（？）
- ・NHKの道徳番組を見て感想発表（？）
- 感想を発表するだけの授業（？）



これからの道徳授業は・・・

- ・ねらいをはっきりと！
- ・授業の流れをよく考える！
- ・内容をどう工夫するか考える！
- ・成果（評価）をあげ、次に生かす！

道徳の授業でカギになるのは「主題設定」だと言われています。詳しく言うと、道徳の授業の中で、ねらいとする道徳的価値を明確に位置付けることが必要です。主題は授業の中心となるので、貫してぶれないよう留意して設定し、授業を組み立てていかなければなりません。また、授業を受ける児童生徒にとって、児童生徒自身の問題意識を第一に考える必要があります。

②新聞活用の際に大切にしたい視点

道徳の授業では、副読本をはじめ、様々な資料を用いる先生たちが多いと思います。当然、新聞記事も大いに授業の資料になり得ます。新聞を資料として用いる利点やポイントとしては、次のことが考えられます。

☆様々な観点から記事や写真、表やグラフが記事として掲載されている

→様々な視点から主題を設定することができ、授業に広がりが生まれる

☆実生活に身近にあるというリアルさを感じることができる

→児童生徒にとって考えやすい

3. 授業実践について

①自分たちをみつめられるような授業に…ねらいと学級の実態

授業学年・・・鹿追中学校2年B組 26名

実態・・・4月の学級編成以降の日々の活動を経て、クラスとしてのまとまりが向上

人間関係のトラブルもなく、生徒も毎日が「平和」と感じて生活している

状況判断を適切にして行動する力の向上がより一層望まれる

ねらい ・・・ 当番活動の取りかかりが遅かったり時間を意識して行動することが苦手だったりするので、自ら行動できる生徒に育ってほしい

時と場合に応じた行動や判断が必要な場面について考え、自分の生活につなげてほしい（道徳的実践力の向上）

お互いに気持ちよく生活するために必要なマナーについて考えてほしい

社会の一員としての自覚を持ち、公共のマナーを守ろうとする心を育てる。

※学習指導要領との関連

内容4-（2）主として集団や社会との関わりに関するこ

「公徳心及び社会連帯の自覚を高め、より良い社会の実現に努める」

主題の設定・・・「マナー」「暮らしやすい社会や環境を考える」

②当日の授業について

	学習活動	評価（◎） 手だて（○） 留意点（・）
課題把握 10分	1 興味・関心を持つ 教師が用意した緑ヶ丘公園の写真を提示し、思ったことを発表し合う。	（・事前に緑ヶ丘公園の写真を用意しておく） ・实物投影機で映し出す。
課題追求 30分	2 資料を読んで話し合う 資料①を範読。 ※全文紹介するのではなく、状況が理解できればいい。 感想を発表する。 ▼資料①、②、⑤の小林さんの写真を提示し、行動（記事）を紹介する。 ・小林さんの気持ち を考えてみよう 個人で考えた後、発表し、交流する。 4 資料⑤の警備員に対する罵声を取り上げる。この出来事から思うことを考え、交流する。 5 言葉遣いのことも含め、「自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るために必要なマナー」について考え（班で話し合う。その後、）全体で交流する。	○前年からの懸念ということを理解させる。 ・記事を实物投影機で映し出す。 ◎道徳的心情 マナーを大切にする心を持つことが大切だと気づく。 ・記事をまとめた資料を配付する。 ・写真は实物投影機で映し出す。 ◎道徳的判断力 ただキレイにするということだけではなく、資料のさまざまな視点からボランティアやマナーについて考え、時と場に応じた判断が必要なことに気づく。 ・記事を載せた資料を配付する。
まとめ 10分	5 自分をふりかえる 感想をシートに記入する。	◎道徳的実践意欲と態度の育成 日々の活動や特別活動等で、体験と結びつけることが望ましい。

課題把握（価値を意識づける）

1. 月曜日の朝の緑ヶ丘公園の写真を提示
(生徒の反応)

 - ・「作り話ではないの?」という驚きの様子
 - ・あまりのゴミの散乱の様子に絶句

このあと、お花見シーズンでの写真であること、月曜日の朝にはこのような光景が広がっていることが多い事実を説明しました。

緑ヶ丘公園に行ったことのある生徒が、
クラスのおよそ3分の1いたこともあり、
身近なところで起こっていることを実感したようです。



2. 主題（テーマ）の提示

「マナーって何だろう？～暮らしやすい社会や環境について考えよう～」

課題追究（価値を追究する）

1. 記事を提示、配布（十勝毎日新聞 2013.
5. 16 記事）
(生徒の反応)
 - ・記事を読むことによって、花見シーズンに緑ヶ丘公園でゴミの散乱が問題になっていることの詳細を知る
 - ・真剣に記事を読み込む生徒が多数

記事を読んだあとに、感想を数人の生徒に述べてもらいました。一様に「信じられない」「嫌な気持ちになる」ということを言っていました。

感想を述べてもらったあとに、公園の惨状に対して、付近の人がどのような取り組みをしているのか、という切り口で、別の写真を提示しました。

2. ゴミ拾いをする住民の写真を实物投影機で映し出し、関連した記事を配布（十勝毎日新聞 2013.5.27 記事）

3. 「写真に写っている人は、どのような気持ちでゴミ拾いをしているのだろうか」と問いかける。ワークシートに考え方を記入したあと、交流した。



花見客によって放置されたゴミを巡り、公園の様子や地域の住民が片付けに取り組んでいることを知るための記事

(生徒の反応)

- ・大人なのに、どうしてこんな恥ずかしい（ゴミを捨てる）ことをやるのだろう
 - ・もっとマナーを守ってほしい
 - ・関係のない私が、なぜ片付けをしているのだろう

ゴミ拾いをする人、緑ヶ丘公園の惨状を目の前にした身になって考えさせました。マナーを大切にしないで公共物を使用することが、どれだけ関係ない人を傷つけるかということを認識したようです。このことから、マナーを大切にすることが、自分たちの生活において気持ちよく送るために必要だということに気づいたようです。

4. 今度は、警備している人にスポットを当てた。警備している人がゴミをポイ捨てしている人に注意したら、罵声を浴びせられたという記事（十勝毎日新聞 2013. 5. 30 記事）を配布し、読んだ。この出来事から思うことをワークシートに記入し、交流した。

(生徒の反応)

- ・なんでこっちが罵声を浴びなければ行けないんだ
 - ・警備員に罵声はひどいと思います。自分たちが悪いことをしているのに「うるさい！」はないです。自分たちが気づいて徹底するべきです
 - ・罵声を言った人は悲しい人間だと思う

中学生ともなれば、社会生活をおくる上で必要なことを考えることができます。また、身につけなければならない年齢でもあります。他者に対する行動を考えさせると、この話題を設定しました。自分たちが楽しければ何をやつてもいいという考えはおかしいということを改めて認識したようです。

付近住民「対応は限界」

春日市役所企画課
放課後指導が深刻化して
る。心ない公私利用の状況
陳ながらボランティア活
動を構成する付近住民の本
気、抜本政策を欠く市の職
業体制を巡った。3月25日
みゼロの日。

清掃、注意喚起も悪質化

新井公輔の「西遊記」ハーバードー蔵の「新編西遊記」が書籍化。西遊記の原書は放逐されたたるお忍びの歴史である(西行記・新編西遊記)。

春日市役所企画課
放課後指導が深刻化して
る。心ない公私利用の状況
陳ながらボランティア活
動を構成する付近住民の本
気、抜本政策を欠く市の職
能体制を巡った。3月25日
みゼロの日。

「——「なまで泣き出さるやうだよ。」
『櫻痴』は、『櫻痴の対応』と題する小説で、江戸時代の文部省が禁書として押収されたものだ。江戸時代の文部省は、この禁書の風潮を防ぐために、『公私禁書の禁書』市禁を実効化しているんだよ。」

ただし、このようなことを書いていたワークシートもありました。

・「罵声を浴びせられて引き下がった警備員も悪い。元々こういうことを言われるのを承知でこの世界に入ったはずなのに「言われてびっくりしました」はなんの言い訳にもならないと思う。それ（注意したら罵声を浴びせられるということ）と真正面にぶつかる勇気と度胸を身に付けてほしい」

率直な疑問ですが、このような考えはどのように扱えばいいのでしょうか。このことを書いた生徒に何かアクションを起こした方が良かったでしょうか。道徳の授業は価値の押しつけではないので、これはこれでありますと流してもいいのでしょうか。経験豊富な先生たちのお考えを知りたいです。

まとめ（指導案では課題追究ですが…感想と合わせて…自分の実践にどう結びつけるか）

1. 「自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るために必要なマナー」について感じたこと、考えたことを書き、交流した。

※自分たちの生活と結びつけて考える段階です

（生徒の反応）

- ・人に迷惑をかけない
- ・お互いに気を配れるところが最低限のマナーかなと思います
- ・相手を思いやる！！自分の行動は正しいのか…と考える

※本当はこのあとに、自分たちの普段の当番、係活動について振り返る時間を設けたかったが、時間がなくなり、感想を記入して終了してしまった。

資料について考える事で終わってしまっては、意味がないと思います（国語の授業になってしまいます）。考えたことがらをもとに自分たちの実生活に置き換えることが、道徳的実践力を高める上で必要なものではないでしょうか。今回の授業でいえば、記事にあることを通じて、マナーや他の人のことを考えて生活することがより良い生活を築き上げるために必要だと考えるようになります。

生徒の考えはありきたりな言葉に終始した感がありますが、それでも日頃の振る舞いを「確認」するという点で言えば、大切な時間だったと思います。

③授業後の変容

まとめて言うと「周囲のことを考えながら生活する姿勢が強くなった…かな」ということです。

- ・お互いに気持ちよく生活する上で必要なことの“ヒント”を見出した
- ・当番活動など、自分の役割を果たすことが集団での生活を向上させることにつながる、ということを考えるようになった

④成果と課題

（成果）

- ・新聞を活用することで→記事を読み込むことができるので、教師の説明以上の説得力が生まれる
様々な切り口から授業を考えることができ、幅広い展開となる
身近な出来事から主題に迫ることができるので、考えやすい
自分の素直な考えを引き出しやすくなり、授業を深めることができる
- ・担任間で情報を共有できた→同じ教材を用いて授業をすることで、学年としての指導ができる
教員間でより良い道徳の授業を考え、実践を積み上げることができる
学習会で作成した授業を会員ではない先生にも実践していただけ、研究会の活動を広げることができた

(課題)

- ・学級や生徒の実態に即した資料を見つけるのが難しい
→日頃より新聞記事をストックしておく必要（多大な労力を伴うが）
- 研究会（十勝新聞教育研究会）での学習会で、指導案を蓄積していくことが求められる

4. おわりに～自分たちを見つめ、自分たち自身で高めていくために～

たった1時間の道徳の授業で、児童生徒は大きくは変わらないと思います。また、大きく変えようと欲張って求めすぎてもいけないと思います。しかし、児童生徒を高めていこうという願いを持って根気強く指導していくことが、児童生徒の成長につながることは確かです。

実は先日、校長先生とのお話の中で「生徒指導の機能を生かした学級経営」ということが出ました。まだまだ未熟者の私は、それ（=生徒指導の機能）が学級経営で根付くような指導ができるいないのですが、「生徒指導の機能とは何か？」ということを考え続けていました。いろいろ調べると、生徒指導の機能とは

- ・自己存在感・自己有用感を与える
 - ・共感的人間関係を育成する
 - ・自己決定の場を与える
- の3つがあげられるそうです。

今回の実践は、これら3つのことにつながる展開があちこちにちりばめられていたように思えます。具体的には…

- ・自己存在感・自己有用感を与える
→自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るために必要なマナーについて考える事で、当番活動における自分の役割を認識する（きっかけを与える）
 - ・共感的人間関係を育成する
→罵声の出来事について考える事で、他者を批判したり攻撃したりしても進展はないことを考える
 - ・自己決定の場を与える
→マナーについて考える事で、自分の行動に対する自己判断が常に必要だと認識する
- ということがあげられると思います。

もちろん、1時間の道徳の授業だけで網羅することはできません。様々な授業や活動などで、生徒指導の機能を意識した展開を教師は考えていかなければならぬと思います。

その中で、様々な視点から記事が書かれている新聞を活用した授業は、生徒指導の機能を生かす授業を作りやすく、自分を高めるきっかけを自然な形でたくさん与えてくれるものだと思いました。

つたない実践でしたが、このような機会で発表し学ぶことができてよかったです。ありがとうございました。

(付録資料)

- ・当日使用のワークシート
- ・使用した新聞記事
- ・学級通信（2013. 8. 28）
- ・取材していただいた新聞記事（十勝毎日新聞2013. 8. 28記事）

道徳シート テーマ：「○○○」

年 組 番 名前

① 「 小林さん 」 は、どのような気持ちで 「 ごみ捨い 」 をしているのだろうか、書いてみよう。

② 「 警備員 」 に対する 「 駕声 」 という出来事から、思うことは何だろうか、書いてみよう。

③ 「 自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るために必要なマナー 」 についてあなたが感じたこと、考えたことを書いてみよう。

今日の授業の感想を書きましょう。

（今日の授業を終えて、もし自分の普段の当番・係活動をふり返って何か考えがあれば書いてみよう）

「 」の中は、最初は何も入れていません。私が言って
生徒に書かせるスタイルをとっています。

緑ヶ丘公園では長年、バーベキュー後の「み放置」が課題。月曜日の早朝は放置されたごみが辺りに散乱する（27日午前4時50分ごろ）

付近住民「対応は限界」



■警備員に罵声

同公園駐車場の施設管理業務を請け負う警備員男性（37）の証言は深刻だ。午後10時ころに園内で車のライトを照らして焼き肉をしている若い男女6人に、駐車場の施設を告げに行つたことがあつた。だが、彼ら

が返した言葉は「うるせえ！」「なんで追い出されるんだ！」との罵声だった。警備員は「注意してトラブルになるのが一番怖い」と感じている。自分の身に危険を感じ、立ち去るしかなかった。ただ、「見て見ぬふりを続けていては何も変わらない。いま一度、自分を含む市民全員がきちんと考えないと」と痛感する。

悪質な「み放置」問題はもはや「住民活動の対応では限界だ」（小林さん）。FBに多数寄せられたコメントには、こんな怒りの声もあつた。「公園設置者の帯広市はじめ対応しているんだーー。」（杉原尚勝）

■ ■ ■
帯広市緑ヶ丘公園で「み放置」問題が深刻化している。心ない公園利用の現状、陰ながらボランティア活動で清掃する付近住民の苦労、抜本対策に欠く市の管理制度を追つた。30日ば

With all care

“自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るために必要なマナー” について、考えました

月曜日の道徳の時間に“マナー”について、自分たちが暮らしやすい社会や環境を作るという視点から考えました。

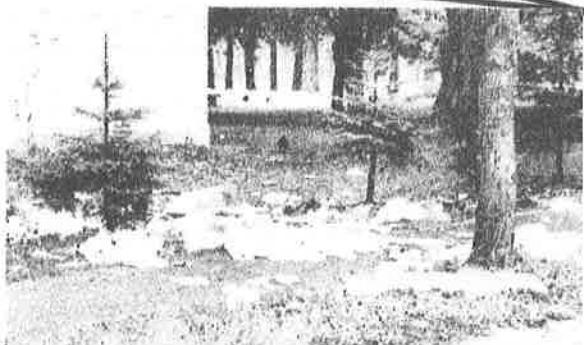
帯広・緑が丘公園での出来事から考えました。ここ数年、緑が丘公園では花見シーズンになるとゴミが散乱して、付近住民が見るに見かねてボランティアでゴミ拾いをしている現状があります。また、ゴミを片付けない人が、注意した警備員に対して罵声を浴びせたり、公園を管理している帯広市も呼びかけをしているものの、なかなかよくならない現状があります…。

この出来事を授業で取り上げ、授業の感想や自分の普段の当番・係活動をふり返って考えたことを書いてもらいました。紹介します。

- ・ゴミを見つけたら、すぐに拾いたい…。
- ・ゴミをちゃんと分別する。
- ・意見文でこの題材について書いているんですが、マナーが悪い人が一人いるだけでたくさん的人に伝染してしまう。周りの人が、伝染されないように頑張るんだ！
- ・みんなが使いやすい環境を作りたい。
- ・捨てる人は捨う人の気持ちをちゃんと考えていたら、きっと捨てる人はそういう考えは持っていないんだなと思いました。
- ・もしルールを守れない、マナーを守れないというのなら、もっと厳しくしてやらなければならぬのかもしれません。そして、ゴミを放置して、持って帰ったりできないのならば、もう二度とゴミの出るもの、お菓子や、バーベキューなどもできなくなり、自分たちだけではなく周りの人々や、他の地方の人々にも迷惑をかけ大変なことになってしまいます。ルールやマナーはしっかり守っていきたいです。
- ・マナーも守れない人がまだこの世にいるんだなーと思いました。
- ・実際このようなことがあるんだなーと思いました。花見をするなら、しっかり後片付けをしてほしいなと思いました。
- ・放置問題とかはしないこと。印象は小林さんがゴミを拾っているところと、警備員が罵声と向き合って注意しているところが印象に残りました。
- ・小林さんはゴミ拾いをボランティアでしているのはすごいことだと思いました。こういう人がいるから、こうして公園で遊んでいると思いました。これからも、ゴミを捨てず、生活していきたいと思いました。
- ・自分なりにマナーは守っているつもりです。大人がこんなことをしていたら、子どももまねしてしまうと思う。
- ・もう一度やり直そうと思う。
- ・もう少しでも真剣に当番や係活動をやっていきたいです。
- ・ゴミはちゃんと捨てた方がいい。
- ・今日この授業を受けて、これから自分の仕事に責任を持ってやらなければいけないと思った。これからはもっとゴミなどについて真剣に考えていこうと改めて思った。
- ・自分の仕事をさぼると、誰かが苦労していることを改めて考えてた。
- ・もし自分が仕事をすることになっていたら…?ということを考えて、自分が掃除しなくともきれいにするよう心がけていようと思います。学校とかでよくあることなのですが、皆で協力して生活することにおいて、やはり迷惑のかかることはしない方がいいですね。

- ・ゴミはちゃんと投げ捨てないで持ち帰りをしないとカラスに特に荒らされるということがわかりました。
- ・警備員に対して怒鳴る人は、花見やバーベキューなどに来る必要がないんじやないかと思いました。
- ・公園にゴミを捨てるのはいけないことだと思いました。マナーを守ることは大切なので、守った方がいいと思います。
- ・んー。しっかりやっていなかったなあとと思いました（自分の普段の当番・係活動）。みんなのためにもしっかりやらなければ！！
- ・縁が丘公園のゴミの量はびっくりしました。みんなの場所であんなマナーを守らない人は最低だと思う。
- ・私は、初めてこんなにマナーを守らない人がいることを知りました。これは、1人ひとりちゃんとやらないとダメだなと思います。このままじゃ、自然が壊れちゃうと思いました。
- ・「しんじられない」と「あきれる」だけです。なんでこんなことするの？と思う。周りの人のことを考えてますか？汚かったら、嫌ですよね？そう思った。鹿追の道路には空き缶などが捨てられている。見るたび、「がっかり」してる。
- ・ゴミはちゃんと捨てようと思いました。マナーを守ってみんながよく使えるようにしたいです。

このような光景が、実際に今年もありました。目を疑いたくなるような写真でした…。



連絡（8月30日の日程について）

しっかり確認しておきましょう！

- ・西部方面大会のある人→大会での活躍を祈る。各部から指示が出ます。
- ・西部方面大会のない人→下の通りになります。

～ 8：20	通常通り登校
8：20～ 8：30	朝読書
8：30～ 8：40	学活
8：45～	スポセンへ移動。
9：00～	バスケ部応援になります。
11：30 下校	

ちょっと変更になりました。チェックを！！

☆給食と下校バスはありませんので、ご注意ください。

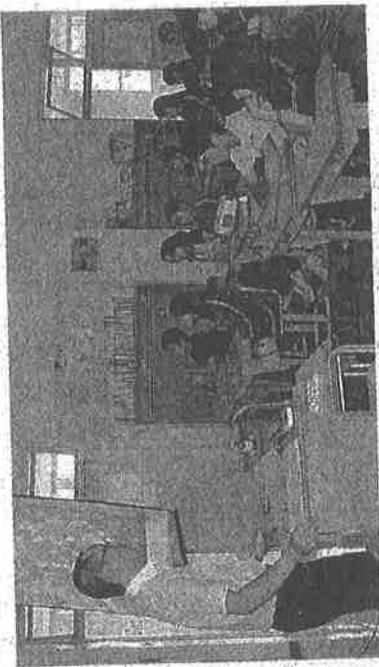
- ・雨天で試合延期（野球部など）の場合は、部活ごとに連絡網が回ると思います。顧問の先生に確認しておきましょう。



最近、突然雨が降ったり、蒸し暑かったり、急にひんやりしたり、天候の変化が激しい。近藤はここ1週間ほどおなかの調子が…。お互い体の調子を万全にしておきたいものですね。

「学習のしおり」は未返却のテストがあるため、来週提出に変更します。

新聞記者を題材に意見交換する鹿追中の生徒たち



新聞記事でNIE授業 ごみ問題を語り合う

鹿追中

十　【鹿追】鹿追中学校（小澤一記校長、生徒147人）で26日、新聞記事を使った道徳の授業が行われた。今年5月に十勝毎日新聞で取り上げられた花見後のごみ

に、公共におけるマナーについて話し合った。

新聞を教科に活用するNIE授業の一環として行われ、この日は2年B組の生徒25人が参加した。緑ヶ丘公園のごみ問題から、「マナーってなんだらう」とテーマを設定した。

生徒たちは記事の感想を発表し、社会に必要なマナーハビスについて真剣に意見を交換。「大人がこんなことをするのはおかしい」「どうして自分で片付けないのか」などさわざわと感想を発表していく。

同校は今年のNIE実験指定校の一つ。担任の近藤弘樹教諭は「新聞を通して社会のことを知り、視野を広げてほしい」と語った。
(那須野唯通員)

2013年(平成25年)8月28日(水曜日) (第3種郵便物認可)

(17)

swan